



取 扱 説 明 書

RS-232Cインターフェイス

CVFT1-200HA-OP1

 **警告:**

本体取扱説明書に記載されている重要警告事項の部分は、製品を使用する前に注意深く読み、よく理解して下さい。本書はRS-232Cインターフェイスについてのみ記しています。取扱い上の注意事項や、基本的操作等の詳細は、本体取扱説明書を参照下さい。

東京精電株式会社

本社・東京営業所	〒168 東京都杉並区宮前4-28-21	TEL 03-3332-6666	FAX 03-3332-6672
上田営業所・工場・技術	〒386-01 長野県上田市蒼久保1216	TEL 0268-35-0555	FAX 0268-35-2895
名古屋営業所	〒462 名古屋市北区黒川本通4 - 3 6 黒川旗ビル8 F	TEL 052-991-9351	FAX 052-991-9350

目次

1	シリアルインターフェイス仕様	1
2	使用方法	
2-1	接続	2
2-2	設定	2
3	コマンド及びパラメータ	3
4	通信手順	4
5	設定コマンドの説明	
5-1	Vxxx.x 出力電圧設定	5
5-2	Ax.xxx 出力電流制限値設定	6
5-3	Fxxx.x 出力周波数設定	7
5-4	MLx メリロード	8
5-5	MSx メリセーブ	9
5-6	Ox 出力ON/OFF	10
5-7	Rx レンジ 280V/140V	11
5-8	Lx KEYロック ON/OFF	12
5-9	Mx 電流制限モード / ノーマルモード	13
6	問い合わせコマンドの説明	
6-1	V? 出力電圧問い合わせ	14
6-2	V?S 出力電圧設定値問い合わせ	15
6-3	A? 出力電流問い合わせ	16
6-4	A?S 出力電流制限値問い合わせ	17
6-5	W? 出力電力問い合わせ	18
6-6	P? 力率問い合わせ	19
6-7	F?S 周波数設定値問い合わせ	20
6-8	C? コンディション問い合わせ	21 ~ 22
6-9	インフォメーション問い合わせ	23
6-10	H? ヘルプメッセージ問い合わせ	24 ~ 25

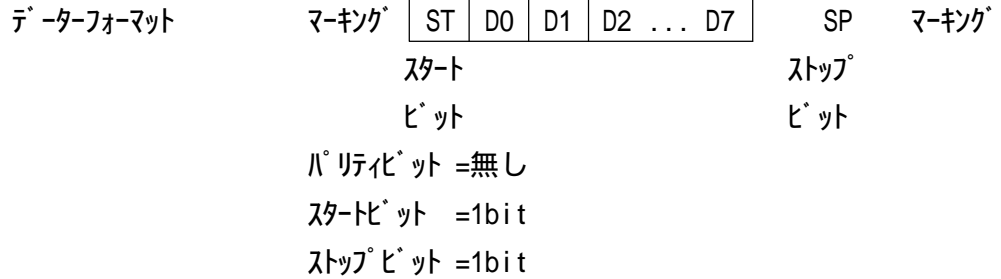
1 シリアルインターフェース仕様

データ転送形式 3線非同期 (RS-232C準拠)

ハンドシェイク 無し

適合コネクタ Dサブ 25P

受信バッファ 1Kbyte



外部装置との接続

DTE装置 (パソコン等) との接続



もしDTE装置側で、ハンドシェイク線を使用していなければ、2,3,7番ピン接続のみで、通信可能です。

4,20番ピンは、常に+10Vが出力されています。

2 使用方法

2-1 接続

本機とコントローラ間を、RS-232Cクロスケーブルで接続します。

2-2 設定

本機及びコントローラの電源をONにします。本機の全面パネルのMODEキーを押して、232Cを選択します。MODEキーを押すごとに以下のように表示が切り替わります。

表示	表示の意味
----	パネル操作のみ
PPI	接点入力によるリセット操作が可能
232C	RS-232Cによるリセット操作が可能
gPIb	GP-IBによるリセット操作が可能

232Cを表示中に、**カ** キーを押してホールドを選択します。

表示	表示の意味(ホールド)
9600	9600bps
4800	4800bps
2400	2400bps
1920	19200bps

目的の条件を選択の後、『ENT』キーを押して下さい。一度設定された条件は次の設定操作が行なわれるまで保持されます。電源OFF後の再起動等の場合も再設定の必要はありません。尚、以上の操作は表示が点滅中に完了して下さい。『ENT』キーが押される前に点滅が終了した場合、操作は一切無効となります。

< 設定例 >

RS232Cモード、ホールド9600bpsに設定する場合の操作を下記に示します。

キー操作	『Hz』表示	『W』表示
	<input type="text" value="60.00"/> 1	<input type="text" value="0"/> 2
『MODE』	<input type="text" value="-- --"/>	<input type="text"/>
『MODE』	<input type="text" value="PPI"/>	<input type="text"/>
『MODE』	<input type="text" value="232C"/>	<input type="text" value="4800"/> 3
『 』	<input type="text" value="232C"/>	<input type="text" value="9600"/> 4
『ENT』	<input type="text" value="60.00"/> 1	<input type="text" value="0"/> 2

1~4の表示内容は、以前の設定状態により値が異なります。

3 コマンド及びパラメータ

下記にコマンド及び、パラメータの一覧を示します。

項番	ヘッダ	パラメータ	セパレータ	内容
3-1	V	XXX.X	','か'LF'	電圧設定
3-2	A	X.XXX	','か'LF'	電流設定
3-3	F	XXX.X	','か'LF'	周波数設定
3-4	M	LX	','か'LF'	メモリロード
3-5	M	SX	','か'LF'	メモリセーブ
3-6	O	1	','か'LF'	出力ON
3-7	O	0	','か'LF'	出力OFF
3-8	R	1	','か'LF'	280Vレンジ
3-9	R	0	','か'LF'	140Vレンジ
3-10	L	1	','か'LF'	KEYロックON
3-11	L	0	','か'LF'	KEYロックOFF
3-12	M	1	','か'LF'	電流制限モード
3-13	M	0	','か'LF'	ノーマルモード
3-14	V	?	','か'LF'	電圧値問い合わせ
3-15	V	?S	','か'LF'	電圧設定値問い合わせ
3-16	A	?	','か'LF'	電流値問い合わせ
3-17	A	?S	','か'LF'	電流設定値問い合わせ
3-18	W	?	','か'LF'	電力値問い合わせ
3-19	P	?	','か'LF'	力率問い合わせ
3-20	F	?	','か'LF'	周波数問い合わせ
3-21	C	?	','か'LF'	コンディション問い合わせ
3-22	I	?	','か'LF'	インフォメーション
3-23	H	?	','か'LF'	ヘルプ

注)

X=アスキーコード

指数形式表現は、使用できません。

セパレータは、','か'LF' (0AH)です。又、セパレータの前に、'CR' (0DH)があってもかまいません。

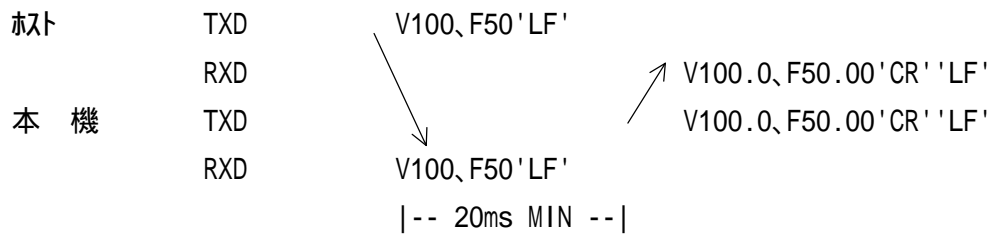
設定コマンドは、実行後受信バッファの内容を返します。従って、送信したコマンドの数だけ、受け取る必要があります。連続して、コマンドを送った場合、全てのコマンドの実行が終わるまで、パルソの表示は、更新されません。又、その間は、キー入力も受付られません。

4 通信手順

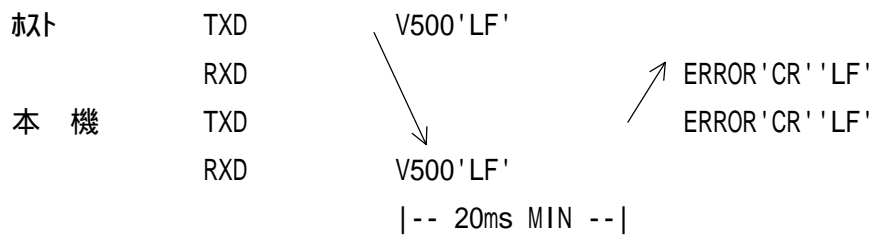
設定コマンド (正常時)



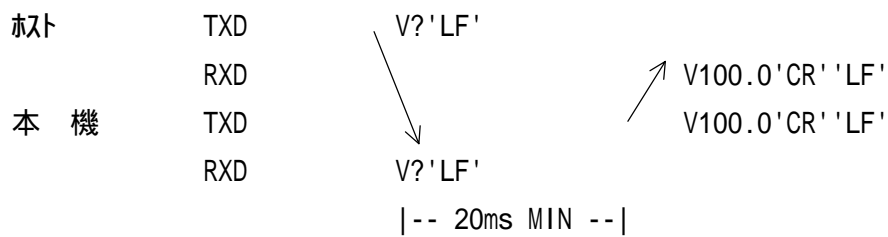
設定コマンド (正常時)



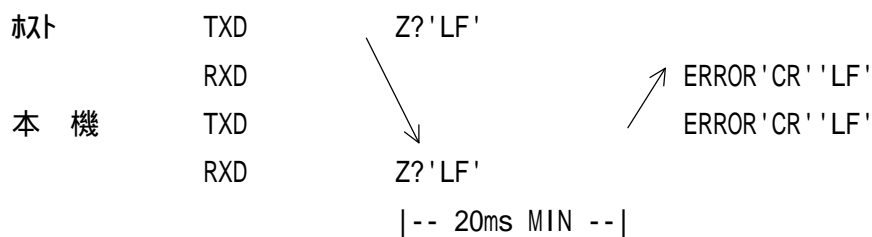
設定コマンド (異常時)



問い合わせコマンド (正常時)



問い合わせコマンド (異常時)



5 設定コマンド説明

プログラム例は、PC9801にてMS-DOS版N88 BASICを使用した場合を記載しています。尚、使用するにあたり以下の設定が必要となります。

- (1) SWITCHコマンドにて下記のように設定します。
9600波特, 8ビット, パリティ-無し, ストップビット1, xパラメータ-無し
- (2) SPEEDコマンドにて下記のように設定します。
波特: 9600, キャラクター長: 8ビット, パリティチェック: パリティ-無し
ストップビット: 1ビット, xパラメータ: 無し

5-1 Vxxx.x 出力電圧設定

本機の出力電圧を設定又は、変更します。

xxx.xは、0~280.0 の範囲です。

100Vに設定する場合下記のいずれも有効です。

ASCII=V100

HEX=56 31 30 30 0A

HEX=56 31 30 30 0D 0A

ASCII=V100,

HEX=56 31 30 30 2C

ASCII=V100.0

HEX=56 31 30 30 2E 30 0A

< プログラム例 >

```
100 OPEN "COM:1" AS #1
110 INPUT " 電圧 = ";SV$
120 PRINT #1,"V"+SV$
130 INPUT #1,ACK$
140 PRINT ACK$
150 GOTO 100
160 CLOSE #1
170 END
```

RUN

電圧 = 1

V001.0

電圧 = 100

V100.0

電圧 = 1000

ERROR

5-2 Ax.xxx 出力電流制限値設定

本機の出力電流制限値を設定又は、変更します。但し、ノーマルモードの時は、実行されません。

x.xxxは、 140レゾリューションの時 0～2.1の範囲です。
280レゾリューションの時 0～1.05の範囲です。

2Aに設定する場合下記のいずれも有効

ASCII=A2

HEX=41 32 0A

HEX=41 32 0D 0A

ASCII=A2,

HEX=41 32 2C

ASCII=A2.000

HEX=41 32 2E 30 30 30 0A

< プログラム例 >

```
100 OPEN "COM:1" AS #1
110 INPUT " 電流リミット = ";SA$
120 PRINT #1,"A"+SA$
130 INPUT #1,ACK$
140 PRINT ACK$
150 GOTO 100
160 CLOSE #1
170 END
```

RUN

電流リミット = 1

A1.000

電流リミット = 0.5

A0.500

電流リミット = 3

ERROR

設定値が範囲内であっても、本機がパワーレギュレーション領域で動作している場合、その条件下の最大値に補正されます。この場合はERRORになりませんので、どのような設定値になったかはA?コマンドで確認して下さい。但し、設定値は記憶される為、この状態でパワーレギュレーション領域外に、設定変更した場合は、ユーザーが設定した値の電流制限値になります。

5-3 Fxxx.x 出力周波数設定

本機の出力周波数を設定又は、変更をします。

xxx.xは、 1～999.9の範囲です。

60Hzに設定する場合下記のいずれも有効

ASCII=F60

HEX=46 36 30 0A

HEX=46 36 30 0D 0A

ASCII=F60,

HEX=46 36 30 2C

ASCII=F60.00

HEX=46 36 30 2E 30 30 0A

< プログラム例 >

100 OPEN "COM:1" AS #1

110 INPUT " 周波数 = ";SF\$

120 PRINT #1,"F"+SF\$

130 INPUT #1,ACK\$

140 PRINT ACK\$

150 GOTO 100

160 CLOSE #1

170 END

RUN

周波数 = 50

F50.00

周波数 = 60

F60.00

周波数 = 1000

ERROR

5-4 MLx メモリーロード

xで指定されたメモリ番号の内容に従ってV,A,F、レンジ、電流モードを設定します。

xは、0~9 の範囲です。

MSxコマンドやキ操作で、記憶しておく必要があります。

メモリ番号2に設定する場合下記のいずれも有効

```
ASCII=ML2
```

```
HEX=4D 4C 32 0A
```

```
HEX=4D 4C 32 0D 0A
```

```
ASCII=ML2,
```

```
HEX=4D 4C 32 2C
```

< プログラム例 >

```
100 OPEN "COM:1" AS #1
```

```
110 INPUT " irlrno = ";SML$
```

```
120 PRINT #1,"ML"+SML$
```

```
130 INPUT #1,ACK$
```

```
140 PRINT ACK$
```

```
150 GOTO 100
```

```
160 CLOSE #1
```

```
170 END
```

```
RUN
```

```
irlrno = 2
```

```
ML2
```

```
irlrno = 0
```

```
MLO
```

```
irlrno = 10
```

```
ERROR
```

出力ON中に、レンジ切り替えを伴うメモリモードが実行された場合、出力はOFFします。

5-5 MSx メモリーセーブ

現在設定されているV,A,HZ,インジ,電流モードを、xで指定されたメモリ番号に記憶します。
xは、0~9 の範囲です。

メモリ番号2に記憶する場合、下記のいずれも有効

ASCII=MS2

HEX=4D 53 32 0A

HEX=4D 53 32 0D 0A

ASCII=MS2,

HEX=4D 53 32 2C

< プログラム例 >

100 OPEN "COM:1" AS #1

110 INPUT " インジ = ";SMS\$

120 PRINT #1,"ML"+SMS\$

130 INPUT #1,ACK\$

140 PRINT ACK\$

150 GOTO 100

160 CLOSE #1

170 END

RUN

インジ = 2

MS2

インジ = 0

MS0

インジ = 10

ERROR

5-6 0x 出力ON/OFF

出力のON/OFFを行います。

x=1 出力ON
x=0 出力OFF

受信コードは、下記のいずれも有効

ASCII=01

HEX=4F 31 0A

HEX=4F 31 0D 0A

ASCII=01,

HEX=4F 31 2C

< プログラム例 >

```
100 OPEN "COM:1" AS #1
110 INPUT " 出力ON/OFF(1/0) = ";SO$
120 PRINT #1,"0"+SO$
130 INPUT #1,ACK$
140 PRINT ACK$
150 GOTO 100
160 CLOSE #1
170 END
```

RUN

```
出力ON/OFF(1/0) = 1
01
出力ON/OFF(1/0) = 0
00
出力ON/OFF(1/0) = 2
ERROR
```

5-7 Rx レンジ 280V / 140V

レンジ切り替えをします。

x=1 280Vレンジ

x=0 140Vレンジ

受信コードは、下記のいずれも有効

ASCII=R1

HEX=52 31 0A

HEX=52 31 0D 0A

ASCII=R1,

HEX=52 31 2C

< プログラム例 >

100 OPEN "COM:1" AS #1

110 INPUT "レンジ 280V/140V(1/0) = ";SR\$

120 PRINT #1,"R"+SR\$

130 INPUT #1,ACK\$

140 PRINT ACK\$

150 GOTO 100

160 CLOSE #1

170 END

RUN

レンジ 280V/140V(1/0) = 1

R1

レンジ 280V/140V(1/0) = 0

R0

レンジ 280V/140V(1/0) = 2

ERROR

出力ON中に、レンジ切り替えした場合は、出力OFFとなりレンジ切替が実行されます。又、設定電圧値が、レンジ定格値をオーバーしている場合は、そのレンジ内の最大値の電圧値に変更されます。(例:280Vレンジ設定にて200V出力の状態からレンジ設定のみを140Vに変更した場合、出力電圧設定は140Vとなります。)

5-8 Lx KEYロック ON/OFF

KEYロックONで、前面パネルからの入力を無効にします。KEYロックONで本体フロントパネルのLOCK表示燈が点灯します。

x=1 KEYロック ON

x=0 KEYロック OFF

受信コードは、下記のいずれも有効

ASCII=L1

HEX=4C 31 0A

HEX=4C 31 0D 0A

ASCII=L1,

HEX=4C 31 2C

< プログラム例 >

100 OPEN "COM:1" AS #1

110 INPUT " KEYロックON/OFF(1/0) = ";SL\$

120 PRINT #1,"L"+SL\$

130 INPUT #1,ACK\$

140 PRINT ACK\$

150 GOTO 100

160 CLOSE #1

170 END

RUN

KEYロックON/OFF(1/0) = 1

L1

KEYロックON/OFF(1/0) = 0

L0

KEYロックON/OFF(1/0) = 2

ERROR

5-9 Mx 電流制限モード/ノーマルモード
モード切り替えします。

x=1 電流制限モード
x=0 ノーマルモード

受信コードは、下記のいずれも有効

ASCII=M1
HEX=4D 31 0A
HEX=4D 31 0D 0A

ASCII=M1,
HEX=4D 31 2C

< プログラム例 >

```
100 OPEN "COM:1" AS #1
110 INPUT " 電流制限モード ON/OFF(1/0) = ";SM$
120 PRINT #1,"M"+SM$
130 INPUT #1,ACK$
140 PRINT ACK$
150 GOTO 100
160 CLOSE #1
170 END
```

RUN

```
電流制限モード ON/OFF(1/0) = 1
M1
電流制限モード ON/OFF(1/0) = 0
M0
電流制限モード ON/OFF(1/0) = 2
ERROR
```

電流制限値は、前回設定されている値になります。
電流制限モード ONに設定後、Ax.xxxで出力電流制限値の設定ができます。

6 問い合わせコマンド説明

6-1 V? 出力電圧問い合わせ

出力電圧値を返します。

受信コードは、下記のいずれも有効

ASCII=V?

HEX=56 3F 0A

HEX=56 3F 0D 0A

ASCII=V?,

HEX=56 3F 2C

次の様な値を返します。

100v出力時

ASCII=V100.0

HEX=56 31 30 30 2E 30 0D 0A

10v出力時

ASCII=V010.0

HEX=56 30 31 30 2E 30 0D 0A

< プログラム例 >

100 OPEN "COM:1" AS #1

110 PRINT #1,"V?"

120 INPUT #1,V\$

130 PRINT V\$

140 CLOSE #1

150 END

RUN

V100.0

6-2 V?S 出力電圧設定値問い合わせ
出力電圧設定値を返します。

受信コードは、下記のいずれも有効

```
ASCII=V?S
      HEX=56 3F 53 0A
      HEX=56 3F 53 0D 0A
```

```
ASCII=V?S,
      HEX=56 3F 53 2C
```

次の様な値を返します。

100v設定時

```
ASCII=V100.0
      HEX=56 31 30 30 2E 30 0D 0A
```

10v設定時

```
ASCII=V010.0
      HEX=56 30 31 30 2E 30 0D 0A
```

< プログラム例 >

```
100 OPEN "COM:1" AS #1
110 PRINT #1,"V?S"
120 INPUT #1,VS$
130 PRINT VS$
140 CLOSE #1
150 END
```

RUN

V100.0

6-3 A? 出力電流問い合わせ

出力電流値を返します。

受信コードは、下記のいずれも有効

ASCII=A?

HEX=41 3F 0A

HEX=41 3F 0D 0A

ASCII=A?,

HEX=41 3F 2C

次の様な値を返します。

1A出力時

ASCII=A1.000

HEX=41 31 2E 30 30 30 0D 0A

0.5A出力時

ASCII=A0.500

HEX=41 30 2E 35 30 30 0D 0A

< プログラム例 >

100 OPEN "COM:1" AS #1

110 PRINT #1,"A?"

120 INPUT #1,A\$

130 PRINT A\$

140 CLOSE #1

150 END

RUN

A1.000

6-4 A?S 出力電流制限値問い合わせ
出力電流制限値を返します。

受信コードは、下記のいずれも有効

```
ASCII=A?S
      HEX=41 3F 53 0A
      HEX=41 3F 53 0D 0A
```

```
ASCII=A?S,
      HEX=41 3F 53 2C
```

次の様な値を返します。

1A設定時

```
ASCII=A1.000
      HEX=41 31 2E 30 30 30 0D 0A
```

0.5A設定時

```
ASCII=A0.500
      HEX=41 30 2E 35 30 30 0D 0A
```

< プログラム例 >

```
100 OPEN "COM:1" AS #1
110 PRINT #1,"A?S"
120 INPUT #1,AS$
130 PRINT AS$
140 CLOSE #1
150 END
```

RUN

A1.000

ユーザが設定した電流制限値を確認したい場合は、電流制限モードにした後、パワーレギュレーション領域外に設定変更し、このコマンドを実行して下さい。

6-5 W? 出力電力問い合わせ

出力電力値を返します。

受信コードは、下記のいずれも有効

ASCII=W?

HEX=57 3F 0A

HEX=57 3F 0D 0A

ASCII=W?,

HEX=57 3F 2C

次の様な値を返します。

10W出力時

ASCII=W010.0

HEX=57 30 31 30 2E 30 0D 0A

200W出力時

ASCII=W200.0

HEX=57 32 30 30 2E 30 0D 0A

< プログラム例 >

100 OPEN "COM:1" AS #1

110 PRINT #1,"W?"

120 INPUT #1,W\$

130 PRINT W\$

140 CLOSE #1

150 END

RUN

W100.0

6-6 P? 力率問い合わせ

力率値を返します。

受信コードは、下記のいずれも有効

ASCII=P?

HEX=50 3F 0A

HEX=50 3F 0D 0A

ASCII=P?,

HEX=50 3F 2C

次の様な値を返します。

力率1.000の時

ASCII=P1.000

HEX=50 31 2E 30 30 30 0D 0A

力率0.8の時

ASCII=P0.800

HEX=50 30 2E 38 30 30 0D 0A

< プログラム例 >

100 OPEN "COM:1" AS #1

110 PRINT #1,"P?"

120 INPUT #1,P\$

130 PRINT P\$

140 CLOSE #1

150 END

RUN

P0.800

注) 電圧か電流が、0の場合(P::::)を返します。

6-7 F?S 周波数設定値問い合わせ
周波数設定値を返します。

受信コードは、下記のいずれも有効

ASCII=F?S

HEX=46 3F 53 0A

HEX=46 3F 53 0D 0A

ASCII=F?S,

HEX=46 3F 53 2C

次の様な値を返します。

1.000Hz設定時

ASCII=F1.000

HEX=46 31 2E 30 30 30 0D 0A

60Hz設定時

ASCII=F60.00

HEX=46 36 30 2E 30 30 0D 0A

999.9Hz設定時

ASCII=F999.9

HEX=46 39 39 39 2E 39 0D 0A

< プログラム例 >

100 OPEN "COM:1" AS #1

110 PRINT #1,"F?"

120 INPUT #1,FS\$

130 PRINT FS\$

140 CLOSE #1

150 END

RUN

F60.00

6-8 C? コンディション問い合わせ

本機の動作状況を各bitに対応させた値2byteを返します。

最初の1バイト (ASCII = 0 .. 7 HEX = 30 .. 37)

	1	0
bit0	KEYロックON	KEYロックOFF
bit1	オーバーロード	-
bit2	オーバーヒート	-

次の1バイト (ASCII = 0 .. 7 HEX = 30 .. 37)

	1	0
bit0	出力ON	出力OFF
bit1	280vレンジ	140vレンジ
bit2	電流制限モード	ノーマルモード

受信コードは、下記のいずれも有効

ASCII=C?

HEX=43 3F 0A

HEX=43 3F 0D 0A

ASCII=C?,

HEX=43 3F 2C

次の様な値を返します。

ノーマルモード、280vレンジ、出力OFF、KEYロックOFF、オーバーロード無し、オーバーヒート無し

ASCII=C02

HEX=43 30 32 0D 0A

ノーマルモード、140vレンジ、出力ON、KEYロックON、オーバーロード無し、オーバーヒート無し

ASCII=C11

HEX=43 31 31 0D 0A

ノーマルモード、140vレンジ、出力ON、KEYロックON、オーバーロード無し、オーバーヒート無し

ASCII=C71

HEX=43 37 31 0D 0A

< プログラム例 >

```
100 OPEN "COM:1" AS #1
110 PRINT #1,"C?"
120 INPUT #1,C$
130 PRINT C$
140 CLOSE #1
150 C=VAL(C$) : CL=C MOD 10 : CH=INT(C/10)
160 IF (CL AND 1)=1 THEN PRINT "OUT ON"ELSE PRINT "OUT OFF"
170 IF (CL AND 2)=2 THEN PRINT "280Vレンジ" ELSE PRINT "140Vレンジ"
180 IF (CL AND 4)=4 THEN PRINT "A LIMIT" ELSE PRINT "NOMAL"
190 IF (CH AND 1)=1 THEN PRINT "LOCK ON" ELSE PRINT "LOCK OFF"
200 IF (CH AND 2)=2 THEN PRINT "OVER LOAD"ELSE PRINT " "
210 IF (CH AND 4)=4 THEN PRINT "OVER HEAT"ELSE PRINT " "
220 END
```

RUN

```
11
OUT ON
140Vレンジ
NOMAL
LOCK ON
```


6-9 I? インフォメーション問い合わせ
インフォメーションを返します。

受信コードは、下記のいずれも有効

```
ASCII=I?  
    HEX=49 3F 0A  
    HEX=49 3F 0D 0A
```

```
ASCII=I?,  
    HEX=49 3F 2C
```

最初のバイトは、送られて来るデータのライン数を、示しています。

< プログラム例 >

```
100 OPEN "COM:1" AS #1  
110 PRINT #1,"I?"           'コマンドを送る  
120 INPUT #1,ILN$          'ライン数を読む  
130 LN=VAL(ILN$)  
140 FOR I=0 TO LN  
150   LINE INPUT #1,I$(I)  'ライン数分読む  
160 NEXT  
170 CLOSE #1  
180 FOR I=0 TO LN  
190   PRINT I$(I)          'ライン数分表示する  
200 NEXT  
210 END
```

RUN

```
TOKYO SEIDEN CO..LTD  
AC Power Supply CVFT1-200HA  
    Ver 1.00  
Maximum current 1(A) at 280(v) range  
                2(A) at 140(v) range  
Frequency 1.000(Hz) - 999.9(Hz)
```

6-10 H? ヘルプメッセージ問い合わせ
ヘルプメッセージを返します。

受信コードは、下記のいずれも有効

ASCII=H?

HEX=48 3F 0A

HEX=48 3F 0D 0A

ASCII=H?,

HEX=48 3F 2C

最初の1バイトは、送られて来るデータのライン数を、示しています。

< プログラム例 >

```
10 DIM H$(30)                '読み込むエリアを確保する
100 OPEN "COM:1" AS #1
110 PRINT #1,"H?"           'コメントを送る
120 INPUT #1,HLN$          'ライン数を読み込む
130 LN=VAL(HLN$)
140 FOR I=0 TO LN
150   LINE INPUT #1,H$(I)   'ライン数分読み込む
160 NEXT
170 CLOSE #1
180 FOR I=0 TO LN
190   PRINT H$(I)          '表示する
200   IF I=18 THEN PRINT "HIT ANY KEY" : K$=INPUT$(1)
210 NEXT
220 END
```

RUN

Vxxx.x set voltage
Ax.xxx set current (only current limit mode)
Fxxx.x set frequency
V? read voltage
V?S read set voltage
A? read current
A?S read set current
F? read set frequency
W? read watt
P? read W/VA
I? read information
H? read help
O0 set out off
O1 set out on
R0 set 140(v)range
R1 set 280(v)range
M0 set maximum power mode
M1 set current limit mode
MLx memory load 0 - 9
MSx memory save 0 - 9
S0 set SRQ off
S1 set SRQ on
S? read SRQ on/off
C? read condetion

low byte bit0..out bit1..range bit2..mode
high byte bit0..OVL bit1..OVH

全ラインの送信が完了するまで次のコマンドを実行しません。